

令和3年度第1回柳川市総合教育会議議事録

1 開会及び閉会に関する事項

令和4年1月25日(火)

開会 13時30分

閉会 15時00分

2 出席委員の氏名

市長	金子 健次
教育長	沖 毅
教育長職務代理者	江口 正基
委員	田中 義隆
委員	瀬戸口 京子
委員	田中 麻子

3 事務局等の出席者

総務部長	平田 敬介
人事秘書課長	江口 英範
教育部長	袖崎 朋洋
首席指導官	野田 真功
学校教育課長	古賀 洋
主任指導主事	萩野 なぎさ
学校教育課長補佐	藤吉 康裕
学校教育課長補佐	田中 規之
生涯学習課長	新開 文隆
人権・同和教育推進室長	成清 和政
図書館長	目野 康彦
子育て支援課長	竜 晴美
総務課長	武田 真治

4 傍聴者

0人

5 議事の概要

発言者	内容
人事秘書課長	皆さんこんにちは。ただ今から令和3年度第1回柳川市総合教育会議を開催いたします。 初めに、本会議の議長であります金子市長より、あいさつをお願いいたしま

金子市長	<p>す。</p> <p>皆さん、こんにちは。</p> <p>委員の皆様には、大変お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>はじめに、新型コロナウイルス感染症についてふれたいと思います。現在、感染力が非常に強いオミクロン株がまん延し、第6波の渦中にあります。若年層の感染も増えており、今後の感染拡大を危惧しているところでありますが、現在、感染対策はもちろんのこと、3回目となるワクチン接種、経済対策など全力で取組を進めているところです。</p> <p>教育現場におきましても、コロナ感染により、活動への大きな影響がありますが、土曜授業や短縮授業などをはじめ、様々な行事を工夫しながら、できるだけ実施する方向で、教育活動を進めてこられたところです。今後も予断を許さない状況ではありますが、一丸となってこの状況を乗り越えていきたいと考えています。</p> <p>つい先日、1月16日に本市出身であります田口悌治氏の「柳川観光大使就任式・就任記念コンサート」が市民文化会館でありました。田口さんは、12歳からギターを始め、高校2年生のときは、ヤマハから講師依頼があるほどの腕前だったそうです。小さい頃からの夢を叶え、プロのギタリストとして活躍してあります。</p> <p>また、観光大使の井口卓人氏も、小さい頃から始めたカートで活躍、その後、本格的なレーシング活動を続け、昨年は、スーパーGT300で年間シリーズチャンピオンに輝きました。</p> <p>お二人に共通するのは、小さい頃から夢を持って、夢に向かい、夢を叶えられたことであります。本市の子供たちにも、小さい頃から夢(目標)を持って努力すれば、夢は叶うということを学んでほしいと思っています。</p> <p>さて、総合教育会議ですが、昨年1月に第3次となる「柳川市教育大綱」を策定し、早いもので、1年が経ちました。本日の会議では、その大綱の進捗状況の確認、それと柳川市教育都市宣言について、御協議をお願いしたいと考えています。</p> <p>活発なご議論をいただき、本市の「教育・芸術・文化」の振興を図っていきたいと考えています。</p> <p>結びになりますが、今後も教育委員会の皆様と一層の連携を図るとともに、「ともに育ち、ゆたかに学ぶ、夢をかなえるまち、水郷柳川」の実現のために、努力していくことを申し添えまして、あいさつとさせていただきます。</p>
人事秘書課長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>それでは、早速ではありますが、議事に入りたいと思います。議事進行につきましても、教育長にお願いしたいと思います。それでは教育長よろしくお願ひいたします。</p>

沖教育長

はい、それではここからは私が会議を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

会議は、短時間に1時間程度で充実した会議にしたいと思っております。よろしく御協力をお願いいたします。

まず初めに、議題(1)の『「第3次柳川市教育大綱」重点的取組の進捗状況報告』についてでございます。

大綱が「8つの柱」ごとに重点的取組を設定しています。8つの柱を大きく5つに分けて、最初に1と2を一緒に。次に3、4、5を一緒に。その後は6、7、8と個別に大きく5つに分けて説明をお願いして、皆様から御意見をいただきたいというふうに考えています。

それでは、柱の1、「豊かな人間性や志をもってたくましく生きる子どもを育てる教育の推進」と、柱2「確かな学力をはぐくみ、個性や能力を伸ばす学校教育の充実」について、学校教育課と生涯学習課から説明をお願いいたします。

学校教育課長
生涯学習課長
沖教育長

－柱1、柱2の重点的取組の説明－

はい、説明ありがとうございました。以上説明がございましたが、何か御質問、御意見等ございませんか。

はい。田中委員お願いいたします。

田中義隆委員

一点です。まず柱1の人間関係、リーダーを育てる教育活動の推進とありました。ただ、それにひとつちょっと考え方の視点になると思うんですけども、例えばリーダーっていうのは全員がリーダーになる必要はないので、社会の中ではリーダーだけで成り立たない前提を思った時に、やはりその人間関係もひとつにありますけれども、リーダーを前面に出すと、リーダーに関しては子どもたち全体の、なんていうかひとつの流れじゃなくて、やっぱりその生徒会とか生徒全体に対してのじゃないかなと、ここは考え方の違いだと思うんですね。やっぱりそれを入れてほしいのがひとつと、そこが気になったんですが。どっちにしても社会としては、リーダーが全員いてもしかたがない。リーダーをそんなに強調して出す必要があるのかなと、リーダーを育てて出すというのはどうかなと、当然リーダーは必要なんですけれども、どういう形でリーダーが生まれてくるのかを考えたほうがいいのではと、これは意見です。

沖教育長

はい。ありがとうございました。リーダーの考え方については首席何かないですか。色んな考え方があると思いますが。

首席指導官

特に小学校、中学校の時代においてはですね、色んな者が入れ代わり立ち代わりいたりするリーダー的な生徒が大事じゃないかなと思います。特に、小学校の段階は限られた者がいつも同じようなリーダーではなくて交代させながらするのが大事なんじゃないかなというふうに考えています。

沖教育長

はい。固定的リーダーじゃなくて色んな面でリーダーをさせて、色んな経験をさ

せて、それなりのリーダーを経験させる形が望ましいということによろしいですかね。

はい。ほかにございませんか。

はい。江口委員さんお願いします。

江口委員

江口でございます。それでは質問ではなくて感想を述べさせていただきます。先ほど首席指導官から、柱1、2を詳しく説明をいただきました。これにつきまして、教育委員会の中で説明を受けていますけれども、昨年の3月から5月の間の全面休校ということになりまして、その影響は卒業式、入学式などにありましたけれども、今年の卒業式、入学式は規模を縮小し予定どおり開催されております。このあたりがコロナ対策とありましたけれども日頃から行ってますように、柱1・2また重点的取組で説明されたとおり、課題はありますけれども、よくなされていたと思っています。

重点的取組2のところでは、郷土を愛する教育活動の充実及び態度の育成で、態度という言葉ですが、これは、昨年度も話がありましたが、意識を高めるといことじゃないかと思っておりますけど、その中で成果として、今年度から可燃ごみ減量活動を推進させたことで、ごみの分別方法を学んだり書いてありまして、最後に参画意識を高めることができたということで、私も思っております。これは、たまたま昨年この会議で市長さんのほうから挨拶で触れられてありましたけれども、可燃ごみの新しい焼却場も完成しました、その費用負担については可燃ごみの量で決まりますと話されていたと思います。その中で、可燃ごみの袋の値段が上がりましたということで、これでもって可燃ごみと不燃ごみの減量活動をしていくと。そのあと可燃ごみの袋が上がった上がったと聞いたことがあります。家庭でもそうですけどごみ袋が上がった上がったという話になって、なんで値上がりしたやろうかという話になりました。私からそのごみの減量や費用負担の話をしたことがありまして、ごみ減量の気運を実感したことがあります。

あと、垂見小学校の学校運営協議会の一員として入っていますけれども、公民館や民生委員など地域の方も一員としていますが、学校として地域としてこのごみ減量をどうやって行こうかという風に話して、そういったところでも成果が上がっているのかなと思っています。

沖教育長

はい。ありがとうございました。

田中義隆委員

はい。ひとつ聞きたいことがあります、コミュニティースクールの件で中学校、小学校のコミュニティースクールのあり方を何か考えていますか。

沖教育長

はい。

首席指導官

中学校は地域に対して中学校に出っていくような形で小学校はどちらかというと地域を受け入れながらというふうな基本方針が当初はあったんですね。ところが、今はどちらかというと小学校のほうの中学校よりと言いますか、地域のほうに出て行くほうをできるだけ増やしていこうという形になってきているというふうな

	<p>捉えがあります。</p>
田中義隆委員	<p>基本的に、小学校と中学校のコミュニティスクールが一緒という必要はないですね。当然地域を巻き込んだ形に受け入れ態勢をとって、逆に中学校は情報を発信するという、そういう流れじゃないとやっぱり機能していないと言わざるを得ないと思います。意見です。</p>
沖教育長	<p>はい。では意識しながらコミュニティスクールを進めると。市長のほうから。はい。</p>
金子市長	<p>江口委員さんの言われたごみの分別収集関係の実際の効果のお話をしておきたいと思います。2050年度のカーボンニュートラル、二酸化炭素の排出をなくしていこうということですが、ごみ焼却場を121億円かけてみやま市と建設しております。そして1年間の燃やすしかないごみの量で施設の建設費の負担割合を決めようということになりました。</p> <p>実際はですね、毎月前年の7パーセントから10パーセント減量になりました。もちろん分別収集によって効果があったと思います。昨年8月11日から14日に豪雨災害により大豆が50パーセント減収になったということもありますので、そういうことについては意識を高めながら、ごみの分別収集によって、将来については、環境対策に寄与していければいいかなと思っているところでございますので、ごみ減量を継続して推進していきたいと思っているところでございます。現状は市民の方に少しずつ浸透してきているのではと思っているところで</p>
沖教育長	<p>はい。ありがとうございます。ごみ減量について来年度ももう少しこの辺を取組むとか、何か考えてあることがあったら教えていただいてもいいですか。</p>
首席指導官	<p>はい。学校の中で少しずつ授業を進めています。生活環境課とタイアップするなりして、市とできるだけ一体感を持てるような取り組みをしていければいいなと思っています。以上です。</p>
金子市長	<p>ごみの管理ですけれども、既に新ごみ焼却施設の試運転をやってまして、3月1日から本格稼働になります。実際どうやってごみ処理がされているかというところを、視察できるような形をとってますので、是非、小・中学校全員必ずでき上がったから見ただけだったらと思います。自ずとごみの減量化に繋がっていったらというふうに思っています。よろしくお願ひします。</p>
沖教育長	<p>視察については学校が遠慮しているかもしれませんが、視察できるということですので行動に移していただければと思います。</p> <p>では、続きまして、柱3の「生涯学習社会の実現をめざす社会教育の推進」、柱4の「特色ある市民文化の創造」、柱5の「健全な身体をつくるスポーツ活動の推進」について、生涯学習課、図書館から説明をお願いします。まず、柱3について生涯学習課長。</p>
生涯学習課長	<p>－柱3、柱4、柱5の重点的取組の説明－</p>

沖教育長	はい。ありがとうございました。 柱 3、4、5 の説明がございました。何か御質問、御意見等ございませんか。
田中義隆委員	はい。田中義隆委員さん、お願いします。 はい。ひとつ確認と質問です。 校区まちづくり協議会。これに関しては青少年育成会議のベースとしてある校区民会議とありますが、これとは一線を画すものですか。
沖教育長	はい。生涯学習課。
生涯学習課長	校区民会議については、青少年健全ということで、子供たちが中心に考えていくようなところなんですけれども。校区まちづくり協議会については、そこだけではなく、もっと大きな組織、学校、行政区長、消防団など全部含めまして校区のことを校区全体で考えていく。例えば地域の防災組織をですね、実際にどうやって行っていくのか、それをいま計画をされているところでございます。行政だけではカバーできない部分がありますので、校区全体でカバーしようとするものが校区まちづくり協議会の考え方でございます。以上です。
田中義隆委員	そしたら校区民会議は残すということですか。1 つにまとめたほうが効率いいかなと。
生涯学習課長	将来的にはですね、おっしゃるとおり、まずは、立ち上げの時は 2 つどうしても出てしまうものなんですけれども。例えば子ども部会とか保健福祉部会とかその中にあるんですけれども、そちらに先々集約していく考えです。以上です。
沖教育長	既存の組織との統合とか、そういうのをしていけないと、いくつも出ていかないといけなからですね。その辺も是非考えないとけないということで、よろしくお願いします。 他にないでしょうか。
田中麻子委員	はい。田中麻子委員さんお願いします。 市民文化会館ですが、とても素晴らしいものができて市民の皆さんとても喜んでいきます。コロナ禍で対策をしながら、今年度も子どもも参加できる音楽会とか、それから芸能、歌舞伎、演劇会、色々と小さい子どもたちが集ってできるようなリズム遊び等、新しいものをたくさん取り入れていただいて大変ありがたいと思っています。今、子どもたちを見ていると音楽とか美術に興味を持ったり、それを持続して習い事としてもですけども、そういう子どもたちが少ないように思います。そういう意味では、音楽とか美術とか活動をしっかりしていただく中で、文化芸術を活用した教育ということで、小さい子どもたちや乳児を持つ親子が参加できる音楽会とかたくさんしていただいて、そんな機会を増やしていただくと夢や目標を持つことにつながると思いますので、ぜひ市民文化会館では、そういった子どもの視点にたった催し物をたくさんしていただければと思います。よろしくお願いします。
沖教育長	はい。市長お願いします。

金子市長	<p>私が申し上げたいと思います。コロナ禍の中でいろいろ考えたんですけども一流アーティストも来ていただきましたし子供向けにもいろんな前進座、わかりやすい歌舞伎もありました。歌舞伎座も初めてだったんですけど、これから色々な芸術文化振興を市民文化会館の場で、盛んに使って頂きたいと思っています。</p> <p>それと、NHKののど自慢ですが、今日は北原白秋のふるさと水郷柳川の町からお届けしていますと、いつか実現できたらと思っています。</p> <p>もうひとつ、大河ドラマの誘致ですけども、頑張ればできると思っていますので、粘り強く継続は力なりという形で、そのことによって、子どもたちも立花宗茂、閻千代など歴史に興味を持ってもらうということで、一緒になって取り組んでまいりたいと思っています。私は春も来ない冬はないという気持ちでいつかコロナも終息してくれるんじゃないかと、ウイズコロナの期間でもいろんな形で組みたいと思っています。以上です。</p>
沖教育長	<p>はい。ありがとうございました。市長から力強い話をいただきました。委員会としても子どもたち向けの色々な取組をしていきたいと思っています。</p>
人権・同和教育推進室長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>はい。次に進めさせていただきます。</p> <p>続きまして、柱6、「人権尊重精神を育成する教育・啓発の推進」の重点的取組について、人権・同和教育推進室から説明をお願いします。</p>
沖教育長	<p>-柱6の重点的取組の説明-</p>
瀬戸口委員	<p>はい。柱6でございました。なにか、御質問、御意見等ございませんか。</p> <p>はい。瀬戸口委員さん。</p> <p>人権同和教育推進室でコロナ禍の中でいろいろ頑張ってもらっているとします。毎年、継続した取組を実施されていくんですけど、実際に若い世代の先生を育てることが不十分であったということならば、今後どのような形でなされよう思っているのかなということをお聞きしたいと思います。</p>
沖教育長	<p>はい。課題解決方法ということです。お願いします。</p>
人権・同和教育推進室長	<p>私どものほうに、社会教育指導委員として人権指導員として二人先生がおります。その方と、支援加配の先生がおられますので、その先生と回って各学校の若年層の先生に、指導助言をして、少しずつ改善していければなと思っています。以上です。</p>
沖教育長	<p>はい。個別の指導を行うということです。よろしいですか。他にないでしょうか。ではないようですので、柱の7「子どもが健全に育つための子育て支援の推進」ということで、子育て支援課長をお願いします。</p>
子育て支援課長	<p>-柱7の重点的取組の説明-</p>
沖教育長	<p>はい。柱7 子育て支援課より説明がございました。何か御質問、御意見等ご</p>

江口委員	<p>ございますか。</p> <p>質問という形で、ひとつお願いします。</p> <p>柱7重点的取組1の下のほうに、成果の下のほうに、地域子育て支援拠点事業については、どこに建設をされておるのか、移転して新たな施設で行う子育て支援事業拡充この具体的な内容の説明をいただければと。</p>
<p>沖教育長</p> <p>子育て支援課長</p>	<p>はい。竜課長。</p> <p>まず、新しい施設は、水の郷の北側に物産公園がございます。その南側に建築を進めているところでございます。今現在は、柳城児童館で事業を実施しております。日吉神社に入ってすぐ向かって東側に柳城児童館がございますので、その中で地域子育て支援拠点事業の通称「つどいの広場」と言いますけれども、その事業を実施しているところでございます。そこで、行っている事業はいくつか申し上げますと、利用者が0歳から3歳までの子どもとその保護者が中心でございますので、産婦さんが子どもさんを連れてそこに来られるようになるんですけれども、ベビーマッサージの講座や助産師さんの相談会をしたり、あとおしゃべりカフェといってお母さん同士の悩みを話せるような、そんな会を設けたりなど色んな取組をしてあります。今後、新しい施設に移転をして、その事業も充実をさせていきたいと考えておりますけれども、まず先ほどお話をしました、発達支援関係の構想とかそういったものを増やしていけたらと思っています。その他、そのスタッフさんと協議をしながらですね、そこだけに留まらず、各校区コミュニティセンターもありますので、出張をして何か子育て講座などできたらいいなという話をしていますので、そういった地域の子育て力の向上を目指していけたらというふうに思っております。以上です。</p>
江口委員	<p>ありがとうございました。重点的取組1の非常に重要なことと思いますし、将来子どもさんだけではなく、子育てされるお父さんお母さんに対する非常に大きなインパクトを与えられると思います。よろしくお願いします。</p>
金子市長	<p>柳城児童館が老朽化している関係で、利用されている方からかなり要望がございました。新しい建設場所の選定もかなり努力して、物産公園の所に決まりました。水の郷とも一緒になって、グラウンドや駐車場など利便性もいいので、良くなったと思っています。今後子育て支援課長からも報告がありましたが中身を充実していきたいと考えています。以上です。</p>
沖教育長	<p>はい。ありがとうございました。よろしいでしょうか。他にございませんか。はい。瀬戸口委員さん。</p>
瀬戸口委員	<p>毎年お尋ねしているところですが、学童のことですが、なかなか今支援員さんが募集しても集まらないということを、毎年お聞きしているんですけど、この現状をなかなか変わらないようですが、実際のところどうなのかということですね。努力をしていっしょやと思うんですけど、で、オンライン研修を実行できるようにということで、ICT環境を整備されたということですが、実施のほうはい</p>

<p>沖教育長 子育て支援課長</p>	<p>かがでしょうか。</p> <p>はい。学童の支援員の確保、研修。お願いします。</p> <p>まず人材確保については、基本的には各学童のホームページやハローワークにて募集をされたりということで、確保はしていただいているんですけども、市のほうでもですね、登録バンク制度を昨年度からスタートさせておりますので、そこに履歴書を持ってきていただいた方が、学童を希望されればですね、学童を紹介したりとか、そういう形で学童の人材確保を図っております。ただし、なかなか厳しいって言うような声も時には聞きますが、なんとか確保をして今運営をしていただいているところでございます。</p>
<p>沖教育長 瀬戸口委員</p>	<p>ICT環境については、整備を進めている段階で、今各学童のほうでパソコン購入などの準備を進めてあるところですよ。ただ年末にはですね設置をしていただいて、実際にこれを活用して、研修を受けられるようになるのが4月以降になるかと思っています。一応月に一回、週に一回開催しておりますので、しっかり研修に活用をしてくださいというお願いをしていきたいと思っています。以上です。</p> <p>はい。何か御意見よろしいですか。</p> <p>それとですね、待機児童数がなかなか毎年変わらないような数字になってますけれども、どこの地域が多いでしょうか。</p>
<p>沖教育長 子育て支援課長</p>	<p>はい。課長。</p> <p>そうですね、やはり、児童数が多いところが待機児童も多いので、多いところと言えば蒲池とか藤吉などです。なかなか希望されてもすぐに入れないという現状はございますけれども、点数をつけて入所決定の参考にするようになっております。親の勤務時間とか、おじいちゃん、おばあちゃんとの同居別居、一人親であるかなどです。以上です。</p>
<p>沖教育長 田中義隆委員</p>	<p>はい。先生方の質の担保とか、そういうのがあると思いますが、難しい課題ですけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。他に。はい。</p> <p>学童の件ですけれども、何年から以前から変わっていなければ、校区単位で運営委員会の中に委託料など丸投げ、丸投げとは言葉がおかしいですけども、状態だと思ふんですよ、その中で指導監査の問題。それで、仕事量の子育て支援課に含まれるものかもしれませんけども、例えば、支援員さんが事務処理とか会計処理とか、かなり無理があると思ふんですけど時間内に、ですからできれば要望なんですよけれども、子育て支援課、他の課中に一括で統括できる事務局の設立をしてあげたい、もらいたいなという気持ちがちょっとあるんです。そこあたりはどう考えてありますか。</p>
<p>沖教育長 子育て支援課長</p>	<p>よろしいですか。</p> <p>はい。おっしゃるように特に主任支援員さんが事務量がですねここ数年本当に多くなって、とてもご苦労かけているというところですよ。委員から案としてひとつ</p>

沖教育長	<p>頂きましたので、それも検討させていただきたいと思っておりますけれども、もうひとつ新年度のことになるので、予算の編成前ですから、なんとも申し上げられませんけど、できれば学童のほうに事務関係の費用の充実できたらなあと思いがございますが、先ほど委員さんがおっしゃられたような、事務処理をやるっていう方法も意見として聞いておきたいと思っています。</p>
総務課長	<p>はい。委員さんから提案がありましたが、検討していくということでよろしくお願ひします。他にないでしょうか。</p>
沖教育長	<p>はい。では次に進めさせていただきます。 柱 8、「安全・安心まちづくりの推進」ということで総務課よりお願ひします。</p>
沖教育長	<p>－柱 8 の重点的取組の説明－ はい。柱の 8 についての説明がございました。何か御意見、御質問等ございませんか。</p>
学校教育課長	<p>よろしいですか、ございませんので次に進めさせていただきたいと思ひます。 以上 8 つの柱について、皆様から貴重な御意見がございました。この御意見を参考に各部局の取り組みを進めてもらいたいというふうに思ひます。</p>
学校教育課長	<p>続きまして、(2)柳川市教育都市宣言について学校教育課から説明をお願ひいたします。</p>
学校教育課長	<p>はい。学校教育課長。 柳川市教育都市宣言につきまして、説明をさせていただきます。今回ここに柳川市教育都市宣言をお出ししておりますのは、一昨年 の 9 月議会におきまして、一般質問で、柳川市の教育都市宣言の制定を求められまして、答弁の中で前向きに検討をしていくというふうな方向性を出しておりますので、こちらのほうで案を作らせていただきました。今日は総合教育会議の中で御意見をいただきたいと、いうふうに考えています。いただいた意見で、教育委員会のほうでまた精査をいたしまして制定に向けて取り組んでいくとの考え方でございます。従いまして、今日決定をいただくということではなく、御意見を伺うということで、説明をさせていただきたいと思っております。一枚目に考え方でございますけれども、お読み取りいただきたいと思ひます。二枚目のほうはですね、柳川市教育都市宣言の案となっておりますので読み上げたいと思ひます。</p>
沖教育長	<p>－柳川市教育都市宣言案の読み上げ－ 以上が原案となっております。学びの継続、生涯学習こういった観点をいれながらですね、提案をさせていただいてるところでございます。よろしければ、御意見をいただきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。 はい。柳川市教育都市宣言についての説明がございました。何か御意見、御質問等ございましたら、お願ひします。</p>

江口委員

柳川市教育都市宣言読ませさせていただきました。ほんとに位置付けが大事だと思ったのは、教育委員会の中で、毎年書かれていますように、教育大綱をいただいています。それに基づいて教育委員会の活動だとか、これあの学校教育課、生涯学習課、図書館、子育て支援課、すべてこれ網羅されていると思います。宣言案の5つの環境づくり、まちづくり、人材育成など、すべて学校教育課と生涯学習課に関することなると思いますので。この宣言は、非常に大切じゃなからうかと思ひまして、再度、教育大綱を隅から隅まで読んでみたいなというふうに反省も含めて思っていますんで、御意見というか宣言は非常に大事なんじゃないかな、それと、教育大綱の位置づけ、認識が甘かったかなと反省しているところでございます。以上です。

沖教育長

はい。ありがとうございました。他になかったですか。

田中義隆委員

文言の並び方で、5番の、学びをいかし、世界に貢献できるということで、ちょっと違和感があつてですね、世界に貢献できるとなつて、他のに関しては活躍できるとか、規模とあれじゃなくて、ちょっと違和感を文章の流れで感じたんです。以上です。

沖教育長

はい。課長。お願いします。

学校教育課長

はい。ここだけができるというふうになつてることが、違和感かなと思いますので、ここをちょっと全体並べながら整理をしたい。

江口委員

世界に貢献できる教育というのが、何なのかちょっとよく分からないかなと。

学校教育課長

世界に貢献できる、世界で活躍できる人材を育てる教育が分かるかと思ひますので、そこをどう表現するか検討したいと思ひます。ありがとうございました。

沖教育長

はい。これは検討課題ということで、意味合い的には今委員さんが言われる方向でお願いします。他にございせんか。

金子市長

宣言自治体を紹介してください。

沖教育長

宣言自治体の例があつたら、福岡県宣言とか近隣の例とか。はい。

学校教育課長

近隣で似たようなもの調べましたところ、実はあんまりありませんでした。福岡県内のどの自治体か手元にありませんが、教育基本条例というのを作っている自治体がございました。これは、どちらかという、市に対して予算の確保を、必要予算の確保を求めていくような条例でございましたので、ちょっとそこは参考にはいたしませんでした。全国を見ますと教育都市宣言このような形で報告を上げて制定されているところが結構あるところでございますが、実際はですね、これが大多数かというそうではないという印象でございます。答えになりませんが以上です。

沖教育長

はい。市長。

金子市長

これは議会の議決事項ではないような感じがしますが、教育委員会とかPRというのはどのようにするんですか。議会に対して。

沖教育長
学校教育長

はい。課長

はい。都市宣言についてなんですけれども、市長がおっしゃったように、議会の議決事項になってる訳ではございません。ただですね、柳川市の今までの非核・平和都市宣言などこういった柳川市における都市宣言が、すべて議会の議決を経て制定されていることを踏まえ、この文だけが議会の議決を経ずして、都市宣言というにはなかなか調整が難しいだろうと、位置付けが難しいだろうということで、他の柳川市の都市宣言と同じように議会の議決を得る方向で、現在考えております。以上です。

沖教育長
金子市長

はい。市長。

はい。事前にですね、課長からレクチャーがあったんですけれども、これをどういった形で宣言をするか、これ教育委員会とかいろんな形である程度動きがないと、突然これを議会に出してもなかなか賛同を得られないような。柳川はこういうことに取り組んだよというようなことをしないとイケないのかなと。雰囲気づくりも半年から1年くらいしていったほうがいいのかなというような感じがしておりますけど。委員会としても同じようにこれでどうですかという形にしないとできないと思うんですけど、ポツと私がこれを出してもどうしているのかと聞かれる気がしますが、なので県下の状況を聞いたところでした。

沖教育長

はい。手続きですね。手続きについて少し醸成しながらしていったほうがより理解を得られるということですけども。課長。ちょっとそこは打ち合わせていませんけれども。なかなか答弁難しいと思いますがよろしいですか。はい。

学校教育長

はい。確かに、市長がおっしゃられるとおりで、一昨年に議会で質問されたから、これを出しますといきなり返すのは確かに、学校の話でもございますし、これをすぐに今から議会にかけようという考えではなくて、市長のおっしゃるように、みなさん納得できるものをきちんとですね、気運を醸成した上で、進めていきたいというふうに考えています。拙速にならないように進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

沖教育長

はい。教育委員会では、醸成しながらですね、まあ気運を盛り上げてまたお諮りするということでよろしいでしょうか。

金子市長

全会一致ではないといけないと思っておりますので。

沖教育長

はい。じゃあそのような形で、もう少し醸成をきちんとやっていくという形でやっていきたいと思っております。他にないでしょうか。では宣言までの手続き等につきましては、もう少し検討しながら、醸成しながらやっていくと、教育委員会等でお諮りしながらということでお願いします。では続きまして、4の「その他」に入ります。事務局から何かございますか。

はい。市長。

金子市長

江口委員の質問についてですけども、地域子育て支援拠点事業の施設ですけれども、オープンは、今のところスケジュールどおりに進んでいますので、

沖教育長	<p>今年の4月上旬ということで市報の昨年7月1日号に詳しく載っていると思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>はい。委員さんから他にその他でないですか。市長から何か。よろしいですか。</p> <p>皆様方との情報共有を今後も連携を図りながら、教育・学術・文化の総合的な振興を、図って参りたいというふうに考えています。</p> <p>本日は、議事進行に協力していただきまして、誠にありがとうございました。それでは、事務局に戻したいと思います。</p>
人事秘書課長	<p>はい。皆様お疲れさまでした。以上をもちまして、令和3年度第1回柳川市総合教育会議を終了いたします。本日はどうもありがとうございました。</p>